

1 単元 日本の諸地域～中国・四国地方～

2 単元の目標

- (1) 中国・四国地方の過疎・過密地域のかかえる問題について、関心をもち、地域的特色を意欲的に追究しようとする。 (関心・意欲・態度)
- (2) 中国・四国地方の地域的特色を、過疎・過密を基に自然環境や人々の生活、産業などと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (思考・判断・表現)

3 単元展開の構想

(1) 単元について

第3章「日本の諸地域」で、日本を七つの地域に区分した中の中国・四国地方である。中国・四国地方では、「人口や都市・村落」を中核として、他の事象と有機的に結びつけて追究する活動を通して、地域的特色をとらえさせるとともに、日本の国土に対する認識を深めさせることをねらいとしている。

(2) 学級の実態

本学級は、日常の様子から明るく活気のある学級である。社会科の授業態度では、真剣に取り組むことができる。しかし、1学期の生徒の様子を見ると社会的な思考力・判断力・表現力の達成度は低く、地理的事象について多面的・多角的に考察することを苦手としているため、地域的特色をとらえることができない生徒が多い。

生徒の実態調査から (平成27年9月8日)

	出来ている	概ね出来ている	出来ていない
多面的に考察できる	4	14	7
多角的に考察できる	6	6	13
地域的特色をとらえることができる	4 (内訳) 多角的・多面的な考察ができる…1 概ねできる…3	7 (内訳) 多角的・多面的な考察が概ねできる…4 ほとんどできない…3	14 (内訳) 多角的・多面的な考察が概ねできる…2 ほとんどできない…8 できない…4

(3) 三つの工夫 (導入の工夫, 展開の工夫, 終末の工夫) を生かした指導観

生徒が資料から読み取った情報を多面的・多角的に考察し、地域的特色をとらえるためには、生徒が主体的に学習活動する場の工夫が必要であると考え。本単元の導入では、生徒が矛盾や疑問に感じる情報を提示し、本時の学習内容への興味・関心を高めた上で単元を貫く課題を設定する。そして調べる活動では、一単位時間ごとの学習課題を解決するために、社会的事象を多面的・多角的に考察できる統計資料等を活用し、課題解決を行っていく。その際には、学習課題に対して資料から読み取ったことや考えたことを、思考を可視化することができるマトリックスにまとめることで、より効果的に多面的・多角的に考察させたい。さらに、その考えを深めるために友達と意見交流を図る。そうして、出来上がったマトリックスから地域的特色をとらえさせることをねらいとした。

4 単元の学習活動と評価計画 (5時間扱い)

時間	学習活動・内容	評価の観点 (評価方法)	
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現
1	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国地方を概観する。 ・単元を貫く課題を設定し、予想を書く。 ・過疎・過密について関心をもち、課題1を導く。 ・課題に対して予想したことをマトリックスに記入する。 	中国・四国地方における過疎・過密に関する課題を意欲的に追究しようとしている。 (観察・ワークシート)	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題1の解決を図るために、資料から情報を調査したり、得た情報から考えをまとめたりしてマトリックスに記入する。 ・学級全体で、マトリックスを共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して多面的・多角的に読み取ったことや考えたことをマトリックスにまとめている。(マトリックス) ・自分や友達のを踏まえて、課題を解決している。(ワークシート)

3	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎・過密に関する意外性について関心をもち、課題2を導く。 ・課題に対して予想したことをマトリックスに記入する。 	中国・四国地方における過疎・過密の意外性から課題を意欲的に追究しようとしている。(観察・ワークシート)	
4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・課題2の解決を図るために、資料から情報を調査したり、得た情報から考えをまとめたりしてマトリックスに記入する。 ・学級全体で、マトリックスを共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して多面的・多角的に読み取ったことや考えたことをマトリックスにまとめている。(マトリックス) ・自分や友達の考えを踏まえて、課題を解決している。(ワークシート)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・課題1と課題2のマトリックスから、島根県と広島県の地域的特色をとらえるため単元を貫く課題を再考する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・マトリックスから島根県と広島県の地域的特色をとらえている。(ワークシート)

5 本時の指導

- (1) 目標 ○課題に対して多面的・多角的に読み取ったことや考えたことをマトリックスにまとめている。(マトリックス)
○自分や友達の考えを踏まえて、課題を解決することができる。(ワークシート)
- (2) 準備・資料 ・ワークシート2種類(自己作成用と意見交流用) ・広島県と島根県に関する統計資料
- (3) 展開

学 習 活 動・内 容	指導上の留意点(※三つの工夫) ○学び合い
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ幸福度ランキングで島根は14位で、広島は29位なのか。</p> </div> <p>2 予想した分野(自然環境や産業など)について調べる。</p> <p>(1) ワークシートについて説明する。</p> <p>(2) 統計資料から読み取れることや分かったことをマトリックスに記入する。</p> <p>3 意見の交流をする。</p> <p>4 課題解決を図る。</p> <p>(1) 分野の順位づけを図る。</p> <p>(2) 課題に対する答えを記述する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>島根県は、広島県よりも寒く雪が多い。また過疎化が進んでおり、交通網も発達していない。そのため、広島県よりも、工場や自動車等が原因とされる大気汚染が少ない。そこに住む人にとっては、島根県の方が広島県よりも環境がよいので幸福度が高かったのだと思う。</p> </div> <p>5 次時の活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容を簡単に復習する。 ・本時は、前時の予想を立証するため、情報を処理し課題を解決することを伝える。 ・前時のマトリックスを基に、考えをまとめていくことを伝える。 ・実際にワークシートを配布した上で電子黒板を使って説明する。 ・情報を処理するだけでなく、そこから分かったこと・気付いたことも記入することを伝える。 <p>※資料から必要な情報のみを読み取れるように、資料の主題や数値に着目するように声かけをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) 課題に対して読み取ったことや自分の考えをマトリックスに多面的・多角的にまとめているか。 (マトリックス)</p> </div> <p>○友達の見解を少しでも多く取り入れるため、自由に教室を動き回り、参考になった意見はワークシートに記入するように指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野の項目に着目して、学習課題に対してどの分野が一番影響しているのかを考えて順位づけを図り、その理由もワークシートに書くことを伝える。 ・順位を踏まえて、ワークシートに課題に対する答えを書くことを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) 自分や友達の考えを踏まえて、2つ以上の視点から考察し、課題を解決することができたか。 (ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、単元のまとめである単元を貫く課題を解決することを予告する。